

「早産児の慢性肺疾患の診断と治療についての多施設共同研究」

ご協力をお願い

～あかちゃんにより良い予後を目指して～

慢性肺疾患は早産児の重大な合併症で、死亡、重症呼吸器感染症、肺高血圧、発達障害などが起きてしまう原因のひとつと考えられています。慢性肺疾患を適切に診断し、治療することは、早産児が元気に退院し、健やかに成長していく上で重要な課題です。しかし、早産児の慢性肺疾患の評価方法・治療方法には一定の見解はありません。慢性肺疾患の発症や重症化を、より早期に予測すること、また、正確に診断することは、より良い治療を行っていくために欠かすことのできない重要な課題です。現在当院では、慢性肺疾患をより【早期に予測】し、より【正確に診断】することによって、【適切な治療】を行えるようにすることを目指した研究に取り組んでいます。本研究は、当院だけではなく、日本全国の多くの施設と共に取り組んでいます。

※研究の目的：①重症の慢性肺疾患を早期に予測し、適切な治療介入が行えるようにすること
②長期的な予後を予測できる慢性肺疾患の診断基準を作成すること

※研究に使用する情報：通常の診療で行っている範囲の検査結果や診療情報(お子様のカルテより情報収集を行います)

※研究対象の範囲：2020年4月～2026年12月の間、生後24時間以内に当院NICUに入院された在胎28週6日以下の早産児のお子様

※情報の解析について：匿名化した上で主任研究施設である京都大学へ送付し、解析を行います

※情報の管理について責任者
研究責任者 新生児科 豊島勝昭

本研究は「ヘルシンキ宣言」「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」等の指針を遵守し行います。研究発表においては患者さんご家族のプライバシーと個人情報の保護に努め実施します。またこの結果を学会発表や論文掲載を行うことがありますが、個人が特定されることはありません。

本研究は企業とは独立して行われ、研究者に開示する利益相反関係はございません。

詳細の説明をお聞きになりたい場合や、ご不明な点がありましたら、スタッフまでお声かけください。

本研究への参加を希望しない場合は下記窓口へご連絡ください。その場合も診療において不利益を受けることはございません。



2020.3. 新生児科科長 豊島 勝昭

相談窓口 倫理委員会事務局 (総務課内) 電話 045(711)2351(代) 内線2212